

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者支援計画策定事業			会計	款	項目	大	小
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課			
施策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり		主管課長	豊田 武彦			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	高齢者	意図	計画策定により、各施策、事業の計画的且つ効率的な執行を図る。
事業内容	高齢者支援計画(高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)策定に伴い、高齢者等の実態調査を実施し、計画策定に係る分析及び推計を行い計画に反映させる。			
事業開始から現在までの状況変化	計画期間 平成30年度～平成32年度 策定年度 平成28年度～平成29年度（継続費設定）			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	審議会審議回数			0	回	→→	
②	アンケート対象者			3,000	人	→→		
③	アンケート回答数			2,426	人	↑↑↑		
④	アンケート回収率			80.90	%	↑↑↑	アンケート回答数/アンケート対象者	
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成29年度に高齢者等実態調査・介護保険と高齢者福祉に関するアンケート実施結果を持って、福祉施策審議会に諮問し、答申を得、計画に反映する。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,382,000		4,111,500				
事業費(b)(円)				2,052,000				
うち一般財源				2,052,000				
職員給与費(c)(円)		1,382,000		2,059,500				
人役・職員(人)		0.20		0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	新規事務事業により記載なし	③取組の課題	多くの方々からの意見を集約する必要があることから、計画的に業務を遂行する必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	新規事務事業により記載なし	④今後の改善計画	計画策定にあたっては、計画策定がスムーズに行えるようスケジュール管理を行っていく。